

八部野球場

関係団体等と連携して活用
親しまれるよう大切に維持する

堺 英明

（ふじさわ新市政会）

平成30年に夏の全国高校野球が第100回記念大会を迎えるに当たって、神奈川大会の会場でもある八部野球場を、早期に部分改修しながらさらに利活用を進めるべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

現在、親子体操教室や小学生の短距離走教室等のほか、藤沢市体育協会等と連携して専門的な指導者やジュニアアスリート育成の場として活用している。さらなる利活用については、本来の利用目的に支障のないことを前提に指定管理者等と協議を行う。

山口 政哉

（市民クラブ藤沢）

2020年東京オリンピックを前に、江の島で競技のテストマッチ、さらにはワールドカップも開催される。外国人観光客をお

もてなしするボランティアの早期育成について、市の考えを聞きたい。

本市は市民参加型のオリピックを掲げ、その取り組みの中心にボランティア活動を位置づけており、現在、ボランティア等推進計画を策定する中で、外国人観光客をおもてなしするボランティアの育成について検討している。東京2020大会の開催関連自治体が募集、運営する都市ボランティアについては、東京都とあわせて30年夏ごろから募集を開始する予定だが、江の島では他の競技に先駆けてテスト・イベント等が実施されるため、ボランテ



施設を維持しさらなる利活用に向けて検討＝八部野球場

アの育成も早期に取り組み必要がある。そこで、29年度からボランティアを希望する市民を対象として、ボランティア活動に必要な基礎知識の習得や外国人観光客をおもてなしするための講座等を実施するとともに、江の島で開催される国際大会を実践の場として活用しながら、ボランティアの早期育成に努めていく。

藤沢駅南口の再整備
湘南らしい個性を
清水 竜太郎

（民主クラブ）

藤沢駅前前は町の顔であり、南口をどう再整備するかは決定的に重要である。湘南らしい個性を重要視する市民が多いことから、交通の利便性を確保しつつ、人や環境を大切にす



再整備の計画が進められている藤沢駅南口

場も、利用者の利便性を中心に交通機関の動線等を優先し、緑地帯などを確保した整備を行ってきた。今後、超高齢化や環境への配慮から公共交通の重要性が高まる中で、移動距離の短縮、休憩スペースの確保や

見解を聞きたい。

現在、藤沢駅周辺地区再整備事業で再活性化等に取り組んでいる。駅前広場は、利用者が安全かつ円滑に交通機関に乗り降りし、回遊する重要な役割を担っている。これまで南口駅前

現在の管理戸数を維持
市営住宅の供給
住宅の長寿命化に努める

味村 耕太郎

（日本共産党藤沢市議会議員団）

住宅の確保に窮する人たちが安心して住み続けられるよう、民間借り上げなどの多様な供給方式で市営住宅をふやすべきと考え、市の見解を聞きたい。

近年、市営住宅の平均応募率が下がる中、新しい住宅の需要が高くなってきている。この状況で新たに借り上げ住宅を整備すると、新しい住宅に応募が集中し既存の市営住宅への応募がさらに減ると考えられる。そのため、既存施設を改修し当面は長寿命化に努め、市営住宅の供給は現在の管理戸数を維持することを基本としている。

若年層の自立のため、低所得の若者単身世帯への家賃助成制度を実施すべきだが、市の考えを聞きたい。

住宅に困窮する若者を含む生活困窮者に対しては、離職を理由に住宅を喪失した方または喪失のおそれのある方を対象に、住居

確保給付金制度として家賃相当分の給付金を支給している。若者単身世帯への家賃助成制度は、国において課題が多く慎重に検討すべきとされた経過があるため、引き続き動向を注視していく。

湘南藤沢市民マラソン
ハーフマラソン実現を
浜元 輝喜

（民主クラブ）

平成29年1月に第7回大会が開催される湘南藤沢市民マラソンは、回を重ねるごとに工夫と改善がなされてきたが、今後、ハーフマラソンの部を実現させることについて、市の考えを聞きたい。

この大会は、江の島

女性管理職の登用
今後の取り組みは
西 智

（市民クラブ藤沢）

本市役所では管理職に占める女性の割合が低い現状がある。女性管理職がふえ、力を発揮することは市民サービス及び市役所の組織力の向上につながることを考えるが、今後、女性管理職の登用を進めるための女

性職員育成と職場環境づくりの取り組みについて聞きたい。

女性職員の育成と職場環境づくりとして、今後のキャリアアップを構築するため先輩職員の体験談等を紹介するキャリアアビリティ研修や、外部の研修機関への派遣を行うなど、能力、意欲向上のための研修を行っている。また、ふじさわ男女共同参画プラン2020及びすこやか子育て支援プランにおいて、ワーク・ライフ・バランスや固定的な性別役割分担意識の改革を図り、男女を問わず全ての職員がやりがいと働きがいを持って働くことができ、環境づくりを進めている。女性職員が勤務するに当たり、模範となる職員や同僚の相談者や身近にいること、キャリアを形成する上での課題解決や職場での

公立と法人立保育所
交流の促進を図る
阿部 すみえ

（藤沢市公明党）

公立保育所と法人立保育所等の交流を進めることが重要だが、現在の取り組みと、市が行っている支援について聞きたい。

さまざまな人とかかわる機会づくりのため、お互いの保育所に遊びに行く園児交流を行っており、遊

いじめの実態把握
適切な対応を
松下 賢一郎

（藤沢市公明党）

いじめの実態をより正確に把握し、適切に対応するためには、保護者へのアンケート調査を実施すべきと考えるが、教育委員会の見解を聞きたい。

現在、教育委員会として各種の啓発リーフレット等を配布するほか、保護者に対して、いじめのチェック項目を示して早期の相談を受けた学校で面談等により早期の対応を図るとともに、いじめ相談ホット

ラインやいじめ相談メール等で保護者から相談が寄せられており、保護者の意向については把握できていると捉えている。

認知や対応が難しいといわれているネットいじめに対して、どのように取り組むのが聞きたい。

各学校において、講演会や授業等を通してネットトラブルの実態や、犯罪の被害者にも加害者にもなりうることを指導している。保護者にも懇話会等でスマートフォン等の通信機器によるトラブルの具体例を示し、所持する上での注意喚起を行う学校がふえている。通信機器を所持する前の指導が有効であり、学校から児童生徒及び保護者への啓発活動が重要であることから、教育委員会として、各学校の情報モラル教育の推進を支援していく。

近隣市との調整、交通規制等の影響、住民の理解、神奈川県や警察との協議など多くの課題があるため、運営委員会に小委員会を設け、参加者の意見を参考にしながら実現の可能性について検討を行っている。

公立保育所と法人立保育所等の交流を進めることが重要だが、現在の取り組みと、市が行っている支援について聞きたい。

さまざまな人とかかわる機会づくりのため、お互いの保育所に遊びに行く園児交流を行っており、遊

公立保育所が蓄積してきた専門知識や保育施設



体験学習等の機会を捉えて保育所間の交流を図る